

わか数学科(第32回-1)

市立稲毛高等学校の巻

1 学校紹介

本校は、千葉市民の期待と要望にこたえ、次代を担う社会の有為な人材の育成をめざして、昭和54年4月に開校した市立高校です。今年で創立30年目を迎えます。豊かな国際感覚を身につけた真の国際人の育成をめざし、平成2年度に国際教養科を開設し、現在、普通科7クラス、国際教養科1クラスの学年編成となっています。海外語学研修(ホームステイ)、英語合宿、ネイティブ講師5名の語学授業、平成15年度から文部科学省のSELHi(Super English Language High School) 研究開発校として指定を受け研究を重ねてきており、さらに平成18年度からも継続校としての指定を受けた、英語・国際教育の先進校でもあります。また、平成19年度4月より、県内初となる併設型公立中高一貫教育校として「確かな学力」「豊かな心」「調和のとれた体力」を身につけた真の国際人の育成を教育目標としスタートし、今年で2年目を迎えました。生徒の年齢は、12歳から18歳までと年齢層の幅は広いですが、学校行事も文化祭、陸上競技大会、マラソン大会等多くの行事は中高一緒に行っており、とても活気溢れる学校です。

2 教育課程(数学)

*平成20年度

(数字は単位数)

科目	中学 1年	中学 2年	高校1年		高校2年		高校3年		
			普通科	国際 教養科	普通科	国際 教養科	普通科 文系	普通科 理系	国際 教養科
数学	4	4							
数学I			3	3					
数学II					3	(3)	(2),(3)		
数学III								4	
数学A			2	2					
数学B					2				(2)
数学C								2	

- (1) 高校1年生と2年生の普通科は、2クラス3展開×2、3クラス4展開×1の少人数授業
- (2) 高校3年生の文系(数学II)は、他科目との選択(2単位または3単位)
- (3) 高校3年生の理系(数学III・C)は、2クラス3展開の少人数授業
- (4) 高校1年生の国際教養科は、単独授業
- (5) 高校2年生の国際教養科(数学II)は、他科目(生活英語)との選択
- (6) 高校3年生の国際教養科(数学B)は、他科目との選択
- (7) 附属中学校の1年生と2年生は、1クラス2展開の少人数授業

平成22年度より、内進生(附属中学校からの内部進学生)と外進生(附属中学校以外からの外部進学生)が合流することとなります。教育課程の編成にあたっては、内進生の中高一貫教育校の利点を最大限に活かすとともに、外進生の期待にも大いに応えられるよう、詳細にわたり教科内のみならず、学校全体で鋭意検討中です。

3 授業外活動

(1) 補習授業

対象	講座名	内容	実施日等
高校2年	数学II・B	センター対策	土曜日
高校3年	数学I・II・A・B	センター対策	週1回
高校3年	数学I・II・A・B	センター対策	土曜日
高校3年	数学III・C	私立・国立2次対策	土曜日

(2) 夏期講習

対象	講座名	内容	実施期間
中学1年	数学1年	文字式の復習	8日
中学2年	数学2年	おもしろ数学	8日
高校1年	数学I・A	方程式と不等式及び確率(センターレベル)	4日
高校2年	数学II・B	平面図形・ベクトル	8日
高校2年	数学I・A	全範囲(センターレベル)	8日
高校3年	数学I・A	私立・国立2次対策	13日
高校3年	数学II・B	数列・ベクトル	13日
高校3年	数学III・C	私立・国立2次対策	13日

4 附属中学校の取り組み

中学1年・中学2年ともに各クラスを2つに分け、20人の少人数授業を展開しており、個に応じたきめ細かな学習指導を行っています。また週1回5～10分程度の基礎学力テストを実施しており、理解度の低い生徒に対しては放課後補習を実施しています。また、毎日、その日の学習内容を復習する宿題を出し、基礎・基本の徹底を図るとともに、各分野の関連性を理解しながら論理的思考力が身につくよう指導しています。

5 数学科紹介



* 名前(担当学年:分掌等)

山口(高2・高3:管理部長)

柴崎(中2・高3:進路指導部長)

水島(中2・高1・高3:中2学年主任)

佐藤(高1・高3:教務主任)

松屋(中1・高1:中高一貫教育推進室)

関川(高2:高2担任,教科主任)

渡邊(高2・高3:高2副担)

井上(高1・高2:図書情報部)

加籠六(高1・高3:高3担任)

河邊(中1・高1:中1副担)

島原(高1・高3:高1担任)

川上(高2・高3:講師)